

2020年東京パラリンピック日本代表選考手順及び方針

施行日平成30年12月17日

作成者 市川喬一

2020年女子代表編成方針

1. 2020年東京パラリンピック競技大会でメダル獲得並びに十分な活躍が期待できる選手を選出し構成する。
2. 礼儀と規律を遵守し、ゴールボール日本代表としてふさわしく、かつ参加各国と競技を通じて友好と親睦に寄与できる、選手・役員をもって編成する。
3. 派遣人数として、選手6名、ベンチスタッフ3名、若干名チームサポートに配置する。
4. 2020年東京パラリンピック女子日本代表選考手順を下記に示す。
2019年を通じて、チームを作りながら、メンバーを選んでいく。
選考対象場面として、下記の大会と合宿を設定する。
 - (1) 2019年12月アジアパシフィック大会（3～4名の選手を選出し、2020年東京パラリンピック代表内定者とする）
大会得点ランキング1位の者は内定者とする。それ以外の選手においては、女子強化選考シート（国際大会 ver.）を用いて選手評価を行い、上位者を内定者とする。
 - (2) 2020年1月パジャラティー遠征で、残りの選手を選出し、2020年東京パラリンピック代表内定者とする。
女子強化選考シート（国際大会 ver.）を用いて選手評価を行い、上位者を内定者とする。
 - (3) (3) で全ての内定者を決められなかった場合には、2020年3月バンクーバー遠征で、残りの内定者を選出することもある。
選出方法は、上記に準ずる。
 - (4) 次年度強化指定ランク評価及び国際大会代表派遣事業の選考については、女子強化選考シートと女子強化選考シート（国際大会 ver.）を活用し、指標内部資料とし、必要に応じて開示する。
 - (5) 最終的に2020年4月当協会理事会の決議により、代表選手を承認推薦する。

選考の流れ

2019年1月から3月強化合宿を、次年度強化指定ランク評価合宿として設定する。

※JGBA日本代表選考規定に定める、主要大会代表派遣選手は、強化指定選手A・Bランクから選考する。

派遣事業として予定している、4月のトルコ遠征、5月のマルモレディーインターカップ大会は、強化指定選手 A・B ランクを参加者とする（但し、状況によっては、ユース・育成選手を帯同させることもある）。各大会では、女子強化選考シート（国際大会 ver.）を用いて選手の評価を行う。この2大会での評価の平均点をジャパラ大会かつアジアパシフィック大会の選手選考における各選手の加点と位置づける。

2019年9月ジャパラ大会かつ12月アジアパシフィック大会の選考は、2019年7月・8月強化合宿で実施する。7月合宿で3人、8月合宿で残りの3人を選考する。女子強化選考シートを用いて評価し、そこに国際大会時の加点を加え、上位者を内定者とする。得点が並んだ場合には、国際大会時の加点が多い者を優位とする。

尚、2020年東京パラリンピック代表選手に内定するためには、2019年内に実施される主要国際大会でクラス分けを受診し、有効期間2021年以上のステータスを有しなければならない。但し、2021年以上のステータス、もしくは、confirmを有する当該選手は受診不要である。

内定者取り消しについて

1. 強化指定選手誓約書に定める事項に違反該当するもの
2. 著しいスポーツ障害により、本来有するパフォーマンスが今後発揮できないと判断し、かつ当協会メディカルドクターが医学的所見により、内定選手が提出する診断書をもって検証をおこない、理事会の決議により内定取り消しとする。

附則

1. 平成31年2月15日（選考の流れ及び評価項目追加・変更）